Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/03/24

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.62	0.13
JPY/THB	0.2775	0.0003
USD/JPY	121.15	0.35
EUR/THB	36.98	0.04
EUR/USD	1.1004	-0.0025
USD/CNH	6.389	0.013
SGD/THB	24.75	0.07
AUD/THB	25.21	0.20
USD/INR	76.30	0.12
USD Index	98.62	0.13

Bond

2.50

2.10

1.70

0.90

20000

15000

10000

5000

-5000

-10000

-15000

-20000

0

18/11/2021

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.478	0.020
10Y (THB)	2.404	0.027
5Y (USD)	2.318	-0.082
10Y (USD)	2.292	-0.091

5Y Bond (Blue:THB, Red: USD)

18/01/2022

Fund flow (Blue:Bond, Red:Stock)

18/01/2022

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,937.3	15.8
WTI (Oil)	114.93	3.17
Copper	10,438.5	170.5

Stock

100

90

80

70

60

18/11/2021

18/03/2022

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,677.95	0.08
NIKKEI (JP)	28,040.16	816.05
DOW (US)	34,358.50	-448.96
S&P500 (US)	4,456.24	-55.37
SHCOMP (CN	3,271.03	11.17
DAX(GER)	14,283.65	-189.55

Fund Flow (Overseas Investors)

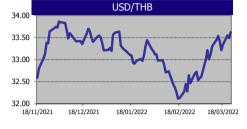
	Close	CHANGE
Stock net flow	368	-3253.3
Bond net flow	(3,224)	-1710.1

*compared with previous day





18/01/2022



MIZUHO









●ドルバーツ

18/11/2021

・昨日のドルバーツは上昇。バンコク時間は33.50近辺でオープン。原油価格が上昇基調を示す中、米国のインフレ高進が意識され、FRBの短期金利の引き上げ観測も相まって、この日のドルバーツは上昇基調で推移。この日はタイの2月自動車生産台数が発表され、数値は前年同月比で+0.3%増との結果。輸出台数については鈍化基調を示したことで、先行き不透明感が意識され、ドルバーツは33.60近辺でクローズした。

18/03/2022

●ドル円その他

・昨日のドル円は高値圏でレンジ推移。東京時間は121.35円近辺でオープン。公示仲値にかけては実需のドル買いフローに支えられて121.40円近辺まで上昇するが、日経平均が上昇一服し、材料も一服したことから更なる上昇とはならず、海外時間には利食いフローも入ったことで120.60円近辺まで下落。しかしFEDメンバーのタカ派発言が相次ぐ中でドル円は再び上昇基調を辿り、結局121.15円近辺まで値を戻してクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

円安が加速しています。FRBがタカ派姿勢を鮮明にする中、日銀は現状の金融緩和堅持を表明しており、日米金利差の一層の拡大が見込まれることが背景にあります。さすがに動きが急過ぎるため、自律的なスピード調整は入ると思いますが、日銀の金融緩和スタンスが変わらない限り、円安基調は継続するものと考えます。今後の注目は、近い将来に日銀の金融緩和スタンスに何らかの変化が生じる可能性があるかどうかですが、FRBがこの3-4ヶ月で一気にタカ派姿勢に転換したことを考えれば、可能性がないとは言えないと思います。鍵は米国同様世論にあり、円安による輸入物価上昇が国民生活に目に見える形でインパクトを与え始めると円安修正を求める声が大きくなり、政治の一大テーマになると考えられます。この構図はまさにFRBがタカ派に転換する過程で生じたことであり、注意が必要です。

なおタイ中銀もスタンスとしては日銀に近いと考えられ、中銀の金融政策スタンスから通貨の強さを測ると、USD>THB>JPYになると思います。タイ中銀については次回3/30の金融政策決定会合が注目材料です。(池澤)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitaion to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.